



行事予定表		
2	火	ピヨピヨ中止/交通安全教室(5歳児)
4	木	読み聞かせ(5歳児)
5	金	給食費引き落とし日(3歳児以上)
12	金	希望保育日(給食あり)
13	土	希望保育日(土曜保育利用者のみ)
15	月	希望保育日
18	木	誕生会
19	金	避難訓練
26	金	よるまでお楽しみ会(5歳児)
30	火	4歳児視覚検査(9:30~)

七月の園だよりで「希望を語ろう」と書きました。希望を語ることは、生きること、人と一緒にいることは楽しいということ、体と心に浸み込ませることです。楽しい体験と思い出をたくさん持つて生活をしていくことが、子どもに保障することです。

夏休み、目標を持ってメリハリのある生活をして、たくさん体験し思い出を作っておいて下さい。

## 「夏まつり」の祭

### 異年齢への刺激!

今年度は、コロナ禍の中でも行事の実施を目標にしながら取り組んでいます。夏まつり本番(7/16)を迎えるに当たり、小さい子ども達も、憧れのぞうぐり組の太鼓披露を「見て・聴いて」、大きな刺激を受けています。太鼓披露を目の当たりにした子ども達は、保育室に置いてある太鼓に見立てたものと棒を持ち「ドンドンドン・・・」と同じリズムを打ち始めました。これからは、感染症の状況を見ながら異年齢交流の時間を大切にしたいと思います。夏まつりへご参加頂いた保護者の方々やお土産等の準備をして頂いた保護者会役員の方々、本当に協力ありがとうございました。

### 今月の予定の中から...

※園行事につきましては、コロナ感染の状況によっては変更もあります事をご承知下さい。

#### ●交通安全教室(2日)

・今月は、防犯について学びますが、5歳児のみの参加とします。ご家庭でも、お子さんと一緒に外出する際は、子どもから手を離さない・目を離さないようにしましょう。何かあつてからでは遅いのです。

#### ●読み聞かせ(4日)

・毎月、指導員の宮本先生と栗山先生が絵本や紙芝居を読んで頂いています。子ども達も、今月はどんなお話かなと楽しみにしている様です。

#### ●誕生会(18日)

・真夏の誕生日、お母さん方も出産時まで暑く大変だったことでしょうか。お子さんの1年1年の成長を、みんなで喜び、尊い命に感謝する日にしたいですね。

#### ●5歳児「よるまでお楽しみ会」(26日)

・今年も「お泊まり保育」ではなく、「よるまでお楽しみ会」を実施します。5歳児は当日に向けて、団結を表したぞうぐり組の旗を製作しました。旗の製作時には、子ども達がアイデアを出し、話し合いながら作り上げました。ぞう・たいよう・そらを入れたデザインです。お盆明けには、玄関脇に張り出すので是非ご覧ください。当日の活動内容や夕飯のメニューも子ども達が意見を出し合いながら決めていきました。5歳児には、この行事を通して相手を思いやったり、仲間意識を高めたり、自分の事を自分ですることで成長をして欲しいと願っています。ぞうぐり組の保護者の方へは後日詳細をお知らせします。

### ★お願い・☆お知らせ

☆希望保育(12日・13日・15日)は利用希望を出された方のみの利用となります。詳細は先日の配信をご確認下さい。当日の持ち物等は利用希望の方に後日お知らせ致します。

### 「子ども達を見つめる時に」

・「十人十色」という言葉がありますね。その意味は、好みや考え・性格などが、人によりそれぞれ違うこと、とあります。確かに、人は考え方も違いますが、同じことを伝えても捉え方も違います。普段の保育の中でも、1人1人の個性を大切に、「人と違っていい」ということを伝えるようにしています。例えば、お子さんを育てていると兄

弟・姉妹同じように育てているつもりが、性格や考え方など決して同じではありませんね。そして、兄弟がいると知らない間に子ども同士を比較するような言葉を発していることがあるのではないのでしょうか。(親はそんなつもりが無くても・・・)

保育の現場でも、「これはこうしないといけない」「この服は〇〇色」という固定観念が昔はありました。しかし、今は違います。個性を大切に。子ども自身が主体的に考え、行動する事に重きを置いています。

それでは、「子ども」の考えを尊重すること「ってどんな事でしょうか?物事の善し悪しがまだ分からない乳幼児のした放題にすることが本人の思いを尊重することでしょうか?それはちよつと違うような気がしますね。乳幼児は、やりたいこと・言いたいことを言ってみて大人の反応を見ています。上手く自分の思いが通れば、「これはやってよいこと」と頭の中にインプットし、繰り返して行おうとします。例えば、お家の人を噛んだり、叩いたりした時に大きな声で騒いだりすると、喜んでいたり勘違いし、お友だちにも同様の事を悪い事と知らずに繰り返したりします。保育園や家庭の中で、小さい子ども達にも社会のルールとして間違っていることは、しっかり伝えていきたいですね。そのためには、大人自身がルールを守る姿を見せなくてはなりません。大人も子ども達の姿を見て自分を振り返ること。「人の振り見て我が振り直せ」は、自分も含め、何歳でもどんな人にも言えることだと思います。

園長 浅沼玲子

